

4 議事録

- 教育部長 ただいまから令和5年第10回始良市教育委員会定例会を開催いたします。本日の議題は、報告1件、議案1件となっておりますので、委員の皆様よろしくをお願いいたします。それでは、これ以降の議事の進行につきましては、小倉教育長をお願いいたします。
- 教育長 それでは会議に入ります。本会議は公開を原則としておりますが、本日の会議を公開することにご異議ございませんでしょうか。
- 全員 はい。
- 教育長 異議なしと認めます。よって、本日の会議は公開することとします。まず日程第1「議事録の承認・署名」についてであります。皆さん、前回議事録の承認・署名は、お済みでしょうか。
- 全員 はい。
- 教育長 それでは、前回議事録は承認されたものと認めます。次に、日程第2「委員及び教育長の報告」についてであります。委員の皆様方から、何かご報告はございますでしょうか。
- 委員 おはようございます。9月14日、15日に、重富中、帖佐中の学校訪問があり、出席いたしました。それぞれの中学校の様子や授業の様子、生徒さんの様子も見させていただきました。どちらの学校もとても落ち着いた様子で授業を受けていまして、とても心強いなあと思うところでした。その後、学校の課題等も話し合われて、とてもいい学校訪問だったと思いました。それから17日には小規模小学校、24日に小学校、10月1日に市立幼稚園の運動会も開催されました。天気が不安定な所もありましたが、何とか最後まで出来たようでした。漆小では地域と保護者が一緒に盛り上がり、そして伝統のバラ踊りなども披露されました。練習も夏休みの後半から地域と保護者一緒になって協力して、とてもいい踊りも出来ていたと思います。また開催するにあたっては、暑さ対策のため、運動会前にバラ踊りの披露があって、その後に運動会があるという形にされておりました。特認校ならではの運動会で、とても良かったと思います。また各学校・幼稚園では給水タイムも設けてありまして、熱中症対策もしつ

かりなされていたと思います。1日開催で復活した競技等もあり、親子リレーなどもあって幼稚園ではとても盛り上がり、すごくいい運動会になったのではないかなと感じたところでした。以上です。

教育長

ほかにございませんか。なければ私の方からご報告させていただきます。いま委員の方からありましたが、9月10、17、24日そして1日、4回にわたって、委員の皆様には本当にお忙しい中、日曜日に運動会・体育祭にご参加いただきましてありがとうございます。

先週の火曜日に県の教育長会があったんですけども、他市では学校の運動会・体育祭をバラバラにやっているとのことでした。期日もバラバラ、開催も半日だったり、全日だったり。始良市はどうしてピシッと統一のとれた運動会・体育祭ができるんですかと逆に聞かれました。いろいろな行事を業務改善だとか、働き方改革だとか、熱中症対策だとか、そういうことで潰そう潰そうという流れになっているわけですね。

始良市は、そういったいろんなイベントは、多少縮小はしても極力やってきました。そして、今年は、どの学校も全日開催、お昼には親子で弁当を囲んでということが取り組まれて、本当にいい運動会ができたのではないかなと思っているところです。

運動会は、やっぱり学校の総力戦と言いますか、子どもたちは一生懸命やるし、それを教職員が支える、そういう姿が見られ、そこには全てが凝縮されています。バラバラというのは学校全体がバラバラに対応しているということですね。そういう状況が、いま県下ではどこと言わず起こっているということです。

委員の皆さん方、必ず参加して見ていただく、そしていろいろな問題があればまたご報告いただきたいと思っております。

それでは日程第3に入っていきます。報告第11号「令和4年度始良市一般会計歳入歳出決算認定（教育費）に関する件」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

事務局

(教育総務課長) それでは、報告第11号「令和4年度始良市一般会計歳入歳出決算認定（教育費）に関する件」についてご説明いたします。

資料は、別冊1と別冊2を使いますのでよろしくお願いします。

まず、別冊1の資料でございますけれども、教育委員会の決算書の報告になります。別冊1の13ページをお開きください。

この資料は、左右見開きで作成していますので、まず項目からご説明いたします。左側の項目から「款」「項」とありますが、これは予算の区分である「科目」にあたります。その次の右となりの「予算現額」、これは年度初めの当初予算に年度途中の補正予算を加えた最終的な予算の額を記載してお

ります。次に「支出済額」については、教育委員会の予算から実際に支払いをした額の総額になります。次に、「翌年度繰越額」は、令和4年度末までに完了することが困難となった取組について令和5年度中に実施するために必要な費用として持ち越した額を記載しています。次に「不用額」は、令和4年度分の費用として、支払う見込みのなくなった予算の残金を記載しております。そして、「予算現額と支出済額との比較」は文字通りでございます。

13 ページの左側の上から一つ目の教育費です。教育委員会全体の教育費の予算総額、「予算現額」の欄に記載した25億2,550万8千円に対しまして、令和4年度中に支出した総額は、24億2,149万8,019円です。この差額1億400万9,981円のうち、令和5年度内に実施するための予算として3,870万8千円を令和5年度の予算に繰越をしております。

したがって、教育部の令和4年度の決算額は、24億2,149万8,019円となりました。

次に、別冊2を使ってご説明をいたします。こちらは、教育総務課から課ごとに順次、ご説明を申し上げます。

まず別冊2の1ページをお開きください。この報告書を構成する項目は、左側から「予算の科目」、「事業の名称」、「事業内容の概要」、「事業の実績と成果」、そして「担当する部署」を記載しております。また、部署別ではなく、「予算の科目」で整理をしておりますので、以後説明する中では、ページを前後しながらになりますので、その点ご了承ください。

それでは、1ページの上から1つ目の事業名「教育委員会関係経費」では、毎月の定例会及び1回の臨時会を開催しまして、委員の皆様には14件の報告の承認と、そして29件の議案を議決いただきました。

次に「総務課関係事務局経費」では、教育委員会任用の会計年度任用職員の適正な配置を行っております。また、教育行政要覧にあたります「始良市の教育」を130部作成しまして、県下19市をはじめとして、教育関係機関へ配付をしております。その他、外部評価委員会を2回開催しまして、とりまとめた報告書については、10月2日、今週の月曜日に市議会の文教厚生常任委員会への提出をもって、市議会に報告したところでございます。これは後日、始良市のホームページ上に掲載して公表いたします。

次に「学校バリアフリー化整備事業」では、身体的な制約のある児童生徒や教職員、また、災害時、体育館に避難された地域住民の方々が、学校施設内で円滑に移動できるよう、段差の解消や車いす利用者も利用できるトイレ整備などのバリアフリー化を進めるために、各学校のバリアフリー化を要する箇所を明らかにしまして、将来的な整備も含めて、本市の整備方針と整備計画を策定致しました。本年度は、来年度以降の工事に向けた実施設計を行っているところでございます。

次に「新型コロナウイルス感染症対策事業」では、教育委員会の各課の行事などで使用する 16 品目の感染対策用品等を調達しております。

報告書の 6 ページをお開きください。上から 3 つ目の「教職員住宅維持管理事業」では、山田中学校の教頭住宅のアスベスト調査をしたうえで解体を行っております。また、新築した西浦小学校の教頭住宅については、家族連れでも入居できるよう子ども部屋を設けた間取りで設計しました。また、北山診療所の医師住宅を教育財産として変更しまして、本年 4 月から北山小学校の校長住宅として活用しております。これを含めまして、その他の教職員住宅の樹木剪定や修繕等を行い、適切な維持管理に努めたところでございます。次に、その下の学校管理費の「小学校維持管理事業」では、会計年度任用職員の任用、施設の軽微な修繕などを行っております。決算額は、前年度比で、およそ 2,600 万円増額した 2 億 3,631 万 7,464 円で、この増額した主な理由は、高圧電気料金の高騰によるものでございます。なお、8 ページには、「中学校維持管理事業」がございましたけれども、ここも同様の事業を行ったところでございます。

次の「小学校備品等整備事業」では、新 J I S 規格の机と椅子の 170 セットを入れ替えて、また、3 月末に学級や児童の増加に伴いまして、机 138 台、椅子 118 脚を追加調達しております。

なお、8 ページの中ほどに記載した「中学校備品等整備事業」につきましても、80 セットを入れ替えて、同じく 3 月末には新たに 53 セットを追加調達しています。その他、学校の要望を踏まえまして備品購入を行っております。次の「小学校施設整備事業」では、三船小の体育館の屋根と西始良小の玄関の屋根の防水工事を実施しました。また感染症対策としては、全ての小学校のトイレ手洗い場の自動水栓化、廊下などの手洗い場のレバーハンドル化、14 校のトイレの洋式化工事などを行いました。こちらについては「中学校施設整備事業」においても、同様に行っております。そしてトイレの洋式化率につきましましては、先月 9 月 27 日に、文部科学省の公表した鹿児島県内の小中学校の洋式化率については、平均で 54.9 パーセントということになっております。始良市の洋式化率は、それを 8.8 ポイント上回る 63.7 パーセントでございました。県下 19 市内では 4 番目に高い整備率となっているところでございます。

次に報告書の 10 ページをお開きください。上から 1 つ目の「幼稚園維持管理事業」では、会計年度任用職員の任用、施設の軽微な修繕等行いました。決算額は、4,772 万 6,261 円でございます。

次に、その下の「教育支援体制整備事業」では、幼稚園で使用する新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品・備品として、マスクや消毒液などの感染防止用品のほか、非接触型の体温測定機等を購入して設置し、幼児の感染リスクを軽減し、安心・安全な教育環境を整えたところでございます。

説明は以上でございます。

事務局

(学校教育課長) 学校教育課の令和4年度の成果の概要についてご説明いたします。本課では、始良市子育て基本条例をもとに「社会全体による協働の子育て・人づくりを進め、自立する子どもの育成」を目指し、各事業を推進してまいりました。

説明につきましては資料に基づき進めさせていただきます。資料は1ページの一番下の段からになります。「学校教育課関係事務局経費」では、教員等の研修会の開催や外国語指導助手の派遣、知能学力検査を実施し、学校教育の充実を図りました。

2ページをご覧ください。「特別支援教育支援員配置事業」では、特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育支援員58人の配置により児童生徒の学校生活を支援しております。

3段目の「モラリティ・インクルーブメント推進事業」では、児童生徒の道徳性の向上を目指し、学校・家庭・地域の三者連携による実践発表会を実施し、また、「ハートフルあいらんど」というイベントの中で、ことばのいずみコンクール等を開催し、道徳教育の充実が図られました。

3ページをご覧ください。「スーパーサイエンス総合推進事業」では、科学実験イベント「サイエンス あいらんど」や中高生を対象とした「サイエンスリーダー養成講座」を開催し、児童・生徒の科学への興味・関心を高めることができました。

いずれのイベントも新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら、予定通り実施したところであります。

4ページをご覧ください。「児童生徒総合支援事業」では、いじめや不登校の防止対策として、「いじめ問題対策事業」、「スクーリングサポート事業」、「スクランブルカウンセリング事業」、「スクールソーシャルワーカー配置事業」、「スクールカウンセラー配置事業」を行い、事件事故が生じた場合には、緊急カウンセリング対応、スクールソーシャルワーカーの派遣などを行い、落ち着いた学校環境づくりに努めました。

2段目の「学力向上・キャリア教育推進事業」では学力向上、地域での職場体験学習を目的として「地域が育むキャリア教育推進事業」、「理数・外国語教育推進事業」、「学力向上アクションプラン事業」、「研究指定校事業」を行い、各小中学校で学習活動の充実が図られております。

5ページをご覧ください。「学校教育活動継続支援事業」ですが、これは新型コロナウイルスに関する国の支援事業で、補助金の一部を活用し、学校に必要な消耗品等を提供し、教育活動を支援しました。

2段目の「人権教育総合推進地域事業」については、県の委託事業であり、学校、家庭、地域社会が一体となった教育上の総合的な研究や学校における

人権教育に関する指導方法の改善、及び充実に資することを目的とし、地域代表を含めた会議や講演会、指導方法に関する研修会を実施しました。

3段目の「特認校・スクールバス運行関係経費」は、令和4年度に教育総務課から移管された事業です。市の所有するスクールバス4台と民間事業者へ運行を業務委託しているスクールバス、ジャンボタクシー、スクールタクシーの経費になります。

6ページをご覧ください。「教育用パソコン等維持管理事業」は、現在、国のギガスクール構想に基づき、児童生徒に1人1台のタブレットパソコンを整備していますが、この事業はそのタブレット端末等の修繕料等の経費になります。その中で児童生徒増に伴う、タブレット端末の購入費も計上していましたが、部材等の世界的な供給量不足により、納入時期が年度を超えることになったため年度内に執行することができなくなりました。その購入費が不用額に含まれて計上されていることから執行率が低くなっております。なお、その不用額から837万3千円をタブレット端末の購入費分として令和5年度へ繰り越しています。

7ページをご覧ください。8ページの1段目までは小学校の「教育振興費」になります。小学校での理科備品の整備、就学援助を必要とする家庭への援助費の支給、各小学校で必要な消耗品及び備品購入への支援、バス借上げによる社会科学習の支援、また、集団生活と自然の素晴らしさを体験する「集団宿泊学習事業」への補助金の支給などにより児童の学習環境の整備と学習の支援を行いました。

9ページをご覧ください。中学校の「教育振興費」になります。中学校の理科備品の整備、就学援助を必要とする家庭への援助費の支給、各中学校で必要な消耗品及び備品購入への支援、また、集団生活と自然の素晴らしさを体験する「集団宿泊学習事業」への補助金の支給などにより生徒の学習環境の整備と学習の支援を行いました。

10ページ3段目からをご覧ください。幼稚園の「教育振興費」になります。「市単独幼稚園就園奨励費補助金」は、使用料が無償となる国の基準額の月額25,700円を超える分を市の単独事業として私立幼稚園に補助しております。4段目の「子育てのための施設利用給付交付金」は無償化以降の私立幼稚園の利用料、預かり保育料に係る費用について私立幼稚園に交付しております。

11ページの1段目をご覧ください。「子ども・子育て支援交付金」は主食以外の副食費について、所得条件等に応じて減免対象となった費用を私立幼稚園に交付しております。以上で説明を終わります。

(社会教育課長) 社会教育課の令和4年度の決算成果について説明させていただきます。

資料の 11 ページをご覧ください。「社会教育総務一般管理費」では、社会教育指導員、社会教育委員の報酬や活動経費、社会教育関係団体への負担金・補助金交付等、運営サポートを行いました。

資料の 12 ページをご覧ください。

「青少年育成事業」では、A I R Aふるさと学寮、A I R Aふるさとチャレンジャーなど異年齢による集団活動や様々な体験活動に重点をおいた事業を実施しました。可能な限り事業を実施するため、開催時期の変更や参加人数の制限、感染予防対策を十分に行いながら事業を実施しました。

「社会教育推進事業」では、家庭教育ラジオ番組の放送や家庭教育フェスティバルの開催など家庭教育の推進に努めました。また、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに学校を核とした地域づくりを推進するためにコーディネーターを各小学校単位に、統括コーディネーター及び家庭教育サポーターを各中学校単位に設置し、S S V C + 事業を実施しました。

なお、二十歳の式典においては、感染症対策を講じて1部制に戻し、2年ぶりにオープニングアクトで蒲生の太鼓坊主の演奏、また、市内在住の技能実習生の参加も実現し、盛大に式典を開催することができました。

「あいら未来特使団事業」では、コロナ禍のため昨年度に引き続き、世界遺産屋久島の縄文杉登山を中心とした体験プログラムを実施しました。

資料の 13 ページをご覧ください。「芸術文化振興事業」では、小学生を対象とした青少年劇場や学校訪問演奏会、市主催の文化芸術祭を開催し、文化芸術鑑賞の機会の提供に努めました。また、10号美術展では286人から345点の作品の応募があり、表彰式や作品展示会を開催しました。

「生涯学習推進事業」では、生涯学習推進会議を開催し、市全体での生涯学習推進体制の構築を図りました。市生涯学習フェアについては、令和5年2月26日に新型コロナウイルス感染防止策を講じた上で開催し、生涯学習功労賞表彰・表彰伝達や活動事例発表、生涯学習展示、学習成果発表、市生涯学習事業展示等を行いました。また、講師に吉田たかよし氏を迎え、「脳を天才にする！勉強法必勝法バイブル」と題して講演会も実施しました。当日は、623人の来場がありました。

資料の 14 ページをご覧ください。「公民館維持管理事業」では、生涯学習活動の拠点となる施設として、必要に応じた修繕を行い、感染対策を講じながら安定した運営に取り組み、施設の維持管理に努めました。「生涯学習講座実施事業」では、生涯学習講座の開設時期の見直しを含め、感染拡大防止策を講じ、55講座を開設し市民ニーズに対応することができました。「公民館安心確保事業」では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、始良公民館大ホール横の和式トイレ男女各1基を洋式へ改修しました。また、非接触式検温器7台を購入し、市内の公民館へ設置しました。

資料の 17 ページをご覧ください。「文化財保護管理事業」では、市内にある

指定文化財 191 件と登録文化財 13 件の維持管理について、シルバー人材センターへの業務委託や始良歴史ボランティア協会による定期巡回、職員の定期清掃を組み合わせ、年間を通じて実施しました。

また、郷土芸能の振興においては、保存会と共催の加治木太鼓踊大会を3年ぶりに開催しました。蒲生の太鼓踊り公開は、残念ながら当日雨天のため中止となりました。さらには、指定文化財解説板の設置・修繕 12 件と加治木ロータリークラブの協力による解説板の修繕 9 件を行いました。

埋蔵文化財発掘調査事業では、令和元年度・2 年度に発掘調査した前田遺跡について、報告書を 300 部刊行し、県内外関係機関に配布しました。また、今年 2 月には調査成果を報道発表しました。「遺跡詳細分布調査事業」では、前田遺跡で出土した編組製品の保存処理等を実施しました。

資料の 18 ページをご覧ください。「蒲生のクス保護増殖事業」では、蒲生のクス保護増殖検討委員会を 7 月と 3 月の 2 回開催し、平成 29 年度から実施中の「蒲生のクス天然記念物再生事業」において、令和 4 年度は、クス東側の土壌改良および樹冠上部の樹勢診断・枯枝切除を実施しました。「歴史民俗資料館維持管理事業」では、ふるさと歴史講座や古文書研究会などの各種講座の開設や小学校の社会科見学の対応や始良歴史ボランティア協会と協力し、小中学校の総合学習に対応しました。また、夏季と秋季の 2 回特別企画展を実施しております。

資料の 19 ページをご覧ください。「加治木郷土館管理運営事業」では、市内幼稚園・小学校の社会科見学の対応や秋季の特別企画展を実施しました。

「蒲生ふるさと交流館管理運営事業」では、指定管理者の特定非営利活動法人 L a b 蒲生郷の自主事業での講座開設などの施設運営に取り組みました。

「椋鳩十文学記念館管理運営事業」では、活性化計画の一環として、夏季企画展「[俳句と椋鳩十]」、冬季企画展「校歌と椋鳩十」を開催しました。夏季企画展前には、中央図書館出張展示を行い、企画展中は児童を対象に俳句教室を開催し 23 名が参加しました。「北山野外研修センター管理運営事業」では、施設の屋内外の整備や美化活動に努め、北山伝承館やスターランド A I R A との一体的な活用を図り、A I R A ふるさと学寮では、生活施設として利用しました。

資料の 20 ページをご覧ください。「龍門陶芸・健康の里維持管理事業」では、指定管理者の A L グループに施設の管理運営を委託し自主事業で行う陶芸学習等、施設運営に取り組みました。「天文台施設管理運営事業」では、星空観望会や工作教室をメインに事業を実施しました。また、写真展や写真撮影講座を実施し、学習機会の提供を行いました。

以上で社会教育課の説明を終わります。

続きまして、図書館事務局の令和 4 年度の決算成果について説明させていた

だきます。

資料は 15 ページをご覧ください。「図書館活性化事業」では、感染症対策を講じながら、年間を通して通常通り開館することができ、コロナ禍における図書館運営についても、利用者にご理解をいただきながらスムーズな運営を行いました。また、おはなし会や映画会、出前読み聞かせ、図書館フェスティバル等の各種行事を実施し、読書推進や図書館利用促進を図りました。その他、県立図書館や他市図書館との相互貸借や鹿児島連携中枢都市圏による広域利用などネットワークを活かした幅広い図書館サービスに努め、Web サービス利用促進やホームページ更新を随時行い、利用者へのサービス向上に努めました。

次に、資料の 16 ページをご覧ください。「加治木図書館維持管理事業」では、図書館の施設・設備の維持管理に努め、安定的な図書館運営が図れるよう取り組みました。「視聴覚教育振興事業」では、県のライブラリーなどを活用しながら、視聴覚の機材や教材の貸出しを行い、学校教育や社会教育における視聴覚に振興に努めました。「図書購入基金積立事業」では、図書館の蔵書の充実を図るための積立金として 2 千円の積立額となっています。最後に「図書館安心確保事業」では、図書館利用における新型コロナウイルスの感染機会の削減のため、マイボトル対応型冷水機設置と閲覧用ソファについては消毒・拭き取り可能なタイプへの張替えを行いました。

以上で図書館事務局の説明を終わります。

(保健体育課長)保健体育課では、資料の 20 ページから 36 ページまで、全部で 28 事業を実施しました。

令和 4 年度に新たに取り組んだ事業や例年との相違点を中心に説明します。21 ページをお開きください。まず、保健体育総務費の「生涯スポーツ推進事業」について説明します。各種スポーツイベント等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視しながら、関係団体と協議し参加者数の制限などにより、全ての事業を実施することができました。

22 ページの「あいらスポーツフェスタ」では、かごしま国体・かごしま大会 1 年前イベントとして実施し、市と包括連携協定を締結している企業等の協力をいただき、サッカー教室やタグラグビー教室などを実施しました。

23 ページをお開きください。始良市駅伝競走大会につきましては、3 年ぶりに開催し、令和 4 年度からコースを加治木の須崎地区からビーラインスポーツパーク始良内の周回コースに移して開催しました。今回は、初めてのコースであったこととコロナ下での開催であったことから、参加チーム数を制限し安全に配慮しながら実施しました。

次に 25 ページをお開きください。体育施設費について説明します。

25 ページから 27 ページの「総合運動公園維持管理事業」、「加治木運動場維

持管理事業」、「体育館等維持管理事業」、「弓道場維持管理事業」、「体育施設備品購入事業」は、執行状況としては例年どおりですが、ビーラインスポーツパーク始良、始良体育センター、蒲生体育施設、始良弓道場、蒲生弓道場については、指定管理者により、令和4年4月1日から新たに5年間の契約により業務を開始しております。特にビーラインスポーツパーク始良では、指定管理者がセイカスポーツセンター・鹿児島県サッカー協会共同事業体に変更となりましたが、大きな混乱もなく順調に業務の遂行をしています。

27 ページをお開きください。下段の「体育施設新型コロナウイルス感染症対策事業」については、新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金を活用し、体育施設の感染症対策として、マイボトル対応型冷水機設置、トイレの洋式化、ハンディ型サーマルカメラ購入を行いました。

次に学校保健費について説明します。28 ページ下段をご覧ください。「学校保健一般管理費」から 29 ページの「学校医等報酬関係経費」、「学校検診事業」と 30 ページ上段の「就学時健康診査事業」につきましても、学校保健安全法に基づき、学校内の環境検査、学校医による検診などを実施しました。30 ページの中段をご覧ください。「スクールガードリーダー配置事業」では、学校及び通学路等における安全確保のために委嘱した警察官OBの4名のスクールガードリーダーによって、各担当校区での見守りや安全点検、また、交通教室において安全指導が実施されるなど、学校や地域の安心につながりました。

30 ページ下段の「新型コロナウイルス感染症対策事業」では、学校における集団感染リスクを回避し安心して学べる環境整備のため、国の補助金を活用し各学校の要望に応じて消耗品や備品の購入を行いました。

31 ページをお開きください。学校体育費の「学校体育推進事業」では、児童生徒の体力向上のため学校体育の充実を図っています。令和4年度の体力合計点では、令和3年度と比較すると小学校5年生の男女が向上しているものの、中学校男女で前年度を下回る結果となっています。

32 ページをご覧ください。「体育連携推進事業」では、日本体育大学との連携協定に基づき、昨年度は日本体育大学保健医療学部整復医療学科の伊藤護教授と柔道整復師6名を招き、スポーツ推進委員等を対象に健康体操について実技講習会を実施しました。また、バドミントン元日本代表で北京オリンピックの際に「スエマエココンビ」として活躍した前田美順選手を招き、小中高校生を対象にバドミントン教室を開催しました。前田選手につきましても、ご両親が加治木に在住ということで、前田選手から始良市に何か貢献できることがないかというご提案があり実現したものであります。

32 ページの下段の学校給食費の「学校給食一般管理費」では、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会のPR及び畜産農家の支援を目的として学校給食での和牛ステーキの提供などを行いました。

33 ページをお開きください。「食育推進事業」では、食育推進校に指定された加治木幼稚園、松原なぎさ小学校及び重富中学校で食育に関する取組みを行っていただき、その成果を2月の「心を育む食育講演会」で発表頂きました。

資料 33 ページの「学校給食室維持管理事業（自校方式）」から資料 35 ページの「蒲生学校給食センター維持管理事業」まで、学校給食事業になりますが、71 名の調理員により市内の小、中学校及び市立幼稚園に給食を提供しました。

自校方式の給食調理用備品について、冷蔵庫及び冷凍冷蔵庫を老朽化に伴う更新をしたほか、小学校給食室別棟では、施設の修繕としてボイラー設備や送風機、加治木学校給食センターでは、ガス管や食器洗浄機の修繕を行いました。

「学校給食施設整備事業」では、新学校給食センターを整備するために始良市新学校給食センター整備基本計画策定支援業務委託を公募型プロポーザル方式により業者選定を行い、基本計画の素案を策定したほか、建設候補地周辺の土地の不動産鑑定を行いました。「学校給食施設換気対策事業」では、国の新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用し、除加湿空気清浄機等の備品購入を行い、学校給食施設の休憩室等の換気対策を行いました。36 ページをご覧ください。「給食用衛生消耗品購入事業」では、国の新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス対策のため給食室において使用頻度が増加したアルコールやポリエチレン手袋等の消耗品を購入し、感染リスクの軽減に努めました。学校給食物価高騰対策食材購入事業では、物価高騰により学校給食の運営に支障をきたしていたことから、国の新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用し、各学校の給食室及び学校給食センターへ物価高騰分の補助金を支出し、学校給食費を値上げすることなく安定した学校給食を提供しました。

以上で、保健体育課の説明を終わります。

教育長

事務局の説明が終わりました。何かご質疑ございませんでしょうか。

委員

教育総務課へお尋ねします。翌年度への繰越しについて、4年度のを5年度に繰り越すと5年度の予算の中で執行するわけですか。それとも4年度の繰越しは別に予算を立てるのですか。

事務局

(教育総務課長) 4年度で実施できなくて5年度に繰り越した場合、予算上、繰越し分として別に費目がありまして、そちらで執行いたします。

委員

分かりました。ありがとうございました。

教育長 ほかにございませんか。

委員 学校の訪問演奏会なんですけれども、中学校がないのはどうしてでしょうか。ほかのところではやっているのに、始良市はないのでしょうか。

事務局 (社会教育課長) 今の事業は小学校を対象にしており、地区に分けて毎年2校ずつ輪番でやっております。中学校は実施していないところです。

教育長 ほかにございませんか。

委員 図書館のことについて、相互貸借事業がありましたよね。そういうのは他のところから借りる、こちらから貸してあげるとなると送料はどうなるのでしょうか。

事務局 (社会教育課長) 今、かごしま連携中枢都市ということで、ほかの市で借りた本を始良市で返すことができます。始良市が貸出元の市へ帰すときの送料は本市持ちになっています。昨年、天文館図書館ができてから、その利用が増えまして、始良市から返す送料がちょっと上がっています。今後、定期的な便ができないかとか、送料の負担について検討をすることになっています。

教育長 かごしま連携中枢都市というのは、始良市、鹿児島市、日置市、いちき串木野市です。センテラスができて以降は利用が高くなっています。ほかにございませんでしょうか。それでは質疑なしと認めます。お諮りします。報告第11号「令和4年度始良市一般会計歳入歳出決算認定(教育費)に関する件」は、事務局からの報告のとおりご了承いただけますでしょうか。

全員 はい。

教育長 異議なしと認めます。よって報告第11号については承認されました。次に議案に入ります。日程第4、議案第27号「始良市立小・中学校におけるハラスメントの防止等に関する指針の策定に関する件」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

事務局 (学校教育課長) パワー・ハラスメント防止のための措置が義務付けられ、セクシュアル・ハラスメント及び妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメ

ントについても防止対策が強化されています。

そこで、今回、鹿児島県教育委員会が県立学校を対象に指針の策定を行ったことを踏まえ、始良市教育委員会におきましても、配付文書のとおり、県費負担教職員に係るハラスメントの防止についての指針を策定し、相談窓口の開設や相談への対応等、必要な配慮についての整備を進めることといたしました。なお、配付しております「始良市立小・中学校におけるハラスメントの防止等に関する指針」については、鹿児島県教育委員会が策定した「鹿児島県立学校におけるハラスメントの防止等に関する指針」を参考に策定しております。

なお、策定に当たっては、職員及びその他の者の人権の尊重、利益の保護及び良好な勤務環境及び教育環境等の確保を図ることを目的とし、ハラスメントの防止及び排除のための措置並びにハラスメントに起因する問題が生じた場合に対応するための措置に関し、必要な事項を定めることといたしました。

県が策定した指針の内容について、始良市立小・中学校の県費負担教職員を対象とするために新たに文言を加筆・変更した箇所についてはアンダーラインをしておりますのでご確認をお願いいたします。

これで説明を終わります。

教育長

別冊で「始良市立小・中学校におけるハラスメントの防止等に関する指針」がお手元にあると思うのですが、県の方から示されたものに対して、加筆したのはアンダーラインをしているということですね。何かこれに対してご質疑ございませんでしょうか。

始良市が加えたものは、定義の部分でその他、「他の者を不快にさせる言動等の一切の」というところで、どういうハラスメントが起きてくるのか分からないというのでこれを加筆した。いま様々な被害が出るわけですから、これを加えたということです。

質疑ありませんか。

なければ質疑なしと認めます。お諮りします。それでは、議題第 27 号は事務局提案とおりの可決することにご異議ございませんでしょうか。

全員

はい。

教育長

異議なしと認めます。よって議題第 27 号「始良市立小・中学校におけるハラスメントの防止等に関する指針の策定に関する件」については可決されました。

教育長

次に、日程第 5、事務連絡に入ります。何か委員の皆様から何かございます

か。なければ事務局は何かございますか。

事務局

(国体推進課長) 委員の皆様へ「かごしま国体・かごしま大会の観戦ガイドブック」をお配り致しました。国体の競技等、県内の全部載っておりますので、参考で見ただけであればと思います。よろしく申し上げます。

(図書館事務局長) 本日、図書館フェスティバル実施要領をお配りしておりますが、今年も11月3日金曜日、祝日になりますが、9時から15時まで中央図書館におきまして、図書館フェスティバルを開催する予定であります。当日は研修室でおはなし会やビブリオバトル、ふれあいプラザで皮のキーホルダー作り、折り紙クリスマスツリー作り、視聴覚室で映画会としまして「ラーゲリより愛を込めて」午後からはウクレレのアンサンブルと読み語りということで、様々な企画を準備しております。また、当日は農産加工グループ出店やキッチンカー出店の予定となっておりますので、教育委員の皆様もお時間都合がつけば是非参加のお願いをしたいと思います。以上です。

教育長

はい、それでは最後に行事予定の確認をお願いいたします。
(各課より順次説明)

教育長

ただいまの行事予定について委員の皆様方、何かご質問ございませんでしょうか。
なければ、以上で本日の議事を全て終了したいと思います。
お諮りします。本日の議事録の字句の軽微な訂正等については、当局に一任していただきたいと思っております。ご異議ございませんでしょうか。

全員

はい。

教育長

異議なしと認めます。よって、議事録の軽微な字句の訂正は、当局にご一任いただきました。以上で、令和5年第10回教育委員会定例会を終了いたします。皆さまご苦労様でした。

全員

ありがとうございました。